

経営研究会

業種・業界の同志が集う経営研究会

船井総研グループのビジネスモデルのひとつとして「経営研究会」の展開が挙げられます。会員同士の業界・テーマ別の情報交換を活発に行うなど、現在171の経営研究会が主宰され、合計7,459名に入会いただいています（※2018年実績）。同じ業種の経営者が相互に成功事例を出し合い、それによる業績アップの情報のプラットフォーム化が進み、同時に「仲間」（好敵手）をつくっていただける場にもつながっています。会員数の拡大と継続率アップは経営全体を牽引するものとして位置づけています。今後は2020年に会員10,000社の実現を目指し、さらなる経営研究会の充実、発展に取り組みます。



カタログは船井総合研究所のホームページからダウンロードいただけます。

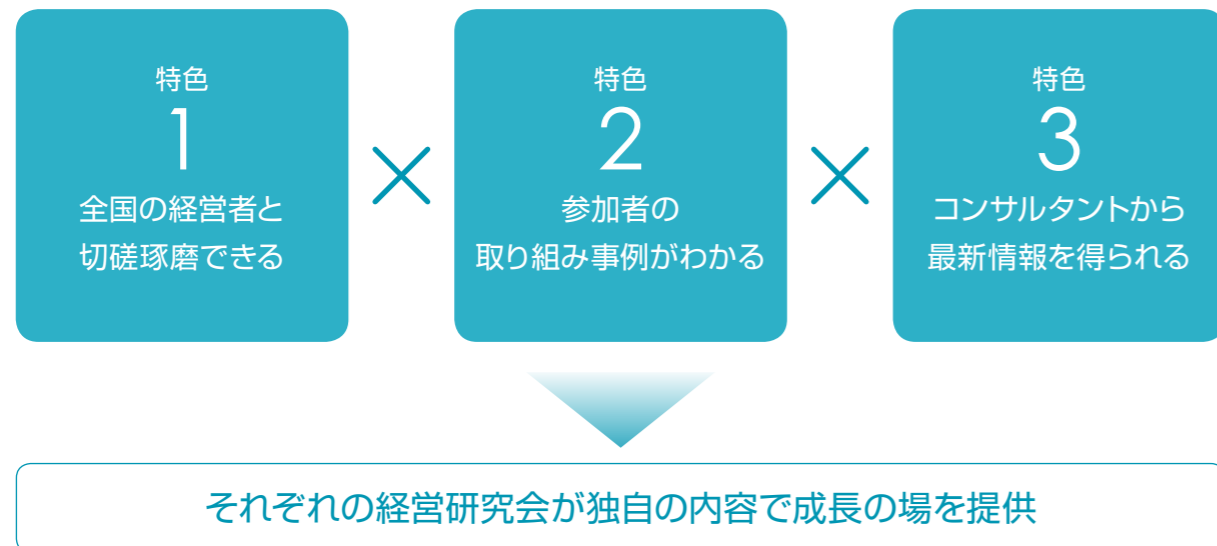
船井総研 研究会 <https://www.funaisoken.co.jp/study/>

主な経営研究会分野

- 住宅・不動産分野
- 医療・介護・福祉分野
- 士業分野
- 自動車関連分野
- サービス・エンターテインメント分野
- 外食・フード分野
- 人材ビジネス分野
- ものづくり・エネルギー分野
- 保育・教育分野
- 地方創生分野
- 金融・M&A分野
- 高収益化分野
- HRDコンサルティング
- ICTコンサルティング

経営研究会の3つの特色と実施内容

経営研究会は、経営者にとって業績アップに必要な生の情報を提供するため、多様なコンテンツを充実させ、常に業種・テーマ別の最新情報が入手できる環境を提供しています。



実施内容



定期例会

定期例会は、経営研究会会員が定期的に集う例会です。当社グループのコンサルタントや、業界テーマで成功を収めている経営者をゲスト講師として招き、業界テーマの最新事例を踏まえた講座を実施します。講座形式のほかにも、会員同士の事例共有やひとつの課題に対するワークショップなども実施しています。定期例会を通じてお互いに切磋琢磨しながら各会員が活かせる情報を共有してもらい、日々の経営環境の改善に貢献します。



モデル企業視察(クリニック)

業界テーマのモデルとなる企業を直接訪問するモデル企業視察を実施しています。業界テーマの最新事例を机上ではなく、実際の現場を視察することで、そこでしか得られない貴重な情報を収集する機会として経営研究会会員企業に最大限に活用していただいています。普段見ることのできない企業の裏側を視察することで、大きな刺激になります。また、経営者だけでなく、幹部の育成にも最適です。



研究会総会

1年間を通じて得てきたことを年末に振り返る場として、経営研究会ごとに総会を開催しています。それと同時に、今後の時流を踏まえた上で、業界内で成長していくために翌年に取り組みべき施策についてコンサルタントから提言をさせていただいています。総会では、講演のみならず、表彰式や懇親会も行います。